

週間漁海況情報 2022年第31号

令和4年8月2日発行

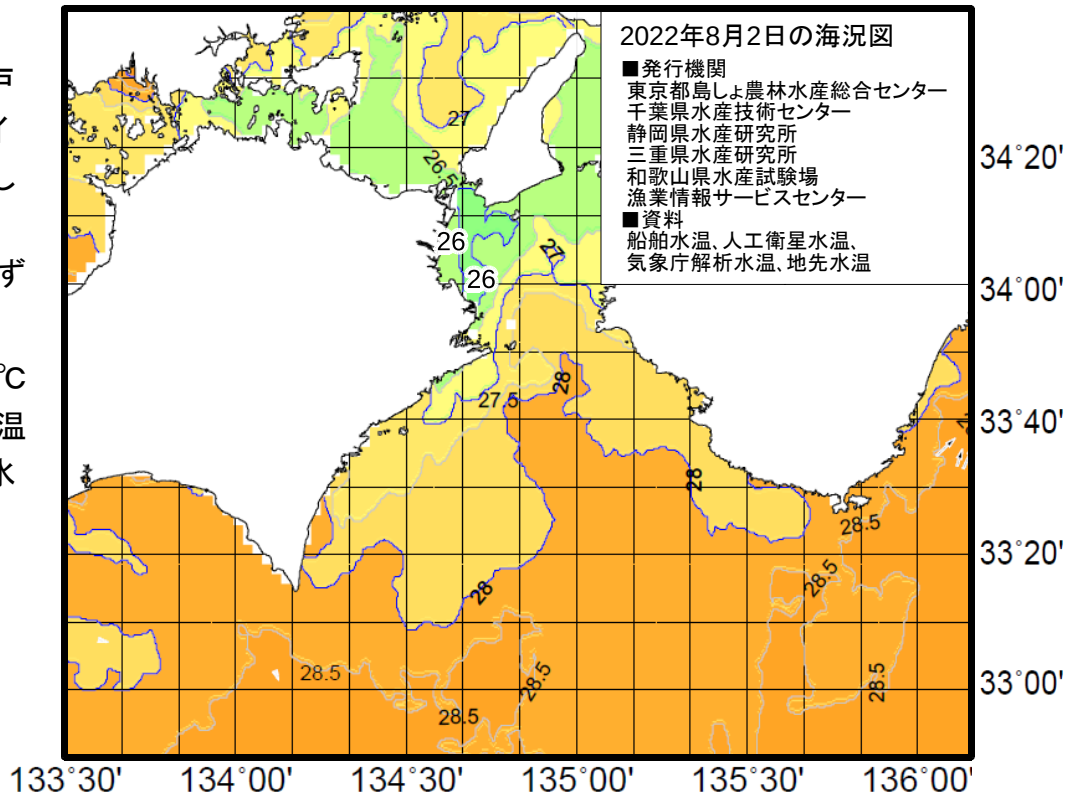
海況

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖89マイル、潮岬沖98マイルを流れ、いずれからも「著しく離岸」。黒潮からの暖水波は、紀伊水道中央部沖へわずかに見られる程度。

黒潮の表面水温は28～29℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘が26℃台、紀伊水道が25～27℃台、海部沿岸が27～28℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～

潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

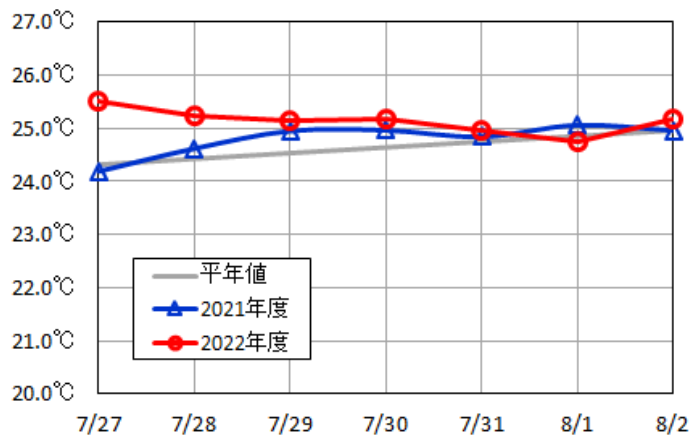
(いずれも正南方向)

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

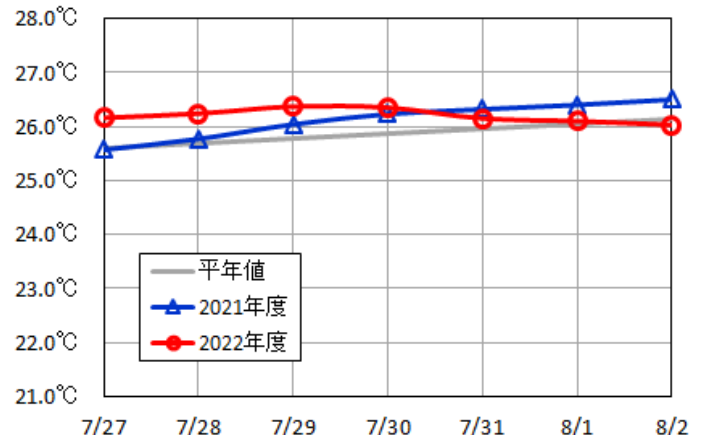
2. 地先水温(7月27日～8月2日)

鳴門地区の水温は24.7～25.5℃、日和佐地区は26.0～23.9℃で、いずれの地区も「やや高め」から「平年並み」に推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は0.6～1.3℃で、前週に比べて広がった。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(8月3日～8月9日)

黒潮は、室戸岬、潮岬沖ではいずれも「著しく離岸」で経過する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」から「やや高め」、日和佐地区は「平年並み」で推移する見込み。

漁況 (7月25日～8月1日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 5)

船びき網では、シラスが150ト水揚げされた。

釣りでは、マアジが特大主体に0.2ト水揚げされた。

延縄では、ハモが減って中主体に5.1ト水揚げされた。

小型定置網では、ブリが減ってつばす級主体に0.9ト、イサキが大主体に0.5ト、マサバが大きく減って0.3ト、マアジが減って豆あじ主体に0.3ト、カンパチが減って0.2ト、マダイが減って0.2ト、カワハギが減って大主体に0.1ト、すずき類が大主体に0.1ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが中主体に11.8ト、えそ類が減って0.4ト、マダイが減って0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

釣りでは、マアジが減って大主体に0.1ト水揚げされた。

延縄では、キダイが減って大主体に0.4ト、アカムツが減って0.3ト、あまだい類が減って0.1ト水揚げされた。

小型定置網では、マサバが大きく増えて2.3ト、ウルメイワシが大きく増えて0.5ト、かます類が小小主体に0.1ト、マアジが大きく減って豆あじ主体に0.1ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.1トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり(kg)	銘柄	前週比※
紀伊水道	船びき網	100	シラス	150,000	1,500		→
	釣り	10	マアジ	150	15	特大主体	→
	延縄	60	ハモ	5,116	85	中主体	↘
	小型定置網	16	ブリ	867	54	つばす級主体	↘
		19	イサキ	471	25	大主体	→
		7	マサバ	313	45		↘↘
		20	マアジ	253	13	豆あじ主体	↘
		17	カンパチ	199	12		↘
		25	マダイ	155	6		↘
		24	カワハギ	125	5	大主体	↘
		8	すずき類	106	13	大主体	→
	底びき網	40	ハモ	11,785	295	中主体	→
		33	えそ類	436	13		↘
20		マダイ	170	9		↘	
海部沿岸	釣り	26	マアジ	145	6	大主体	↘
	延縄	14	キダイ	370	26	大主体	↘
		15	アカムツ	283	19		↘
		21	あまだい類	144	7		↘
	小型定置網	10	マサバ	2,285	229		↗↗
		10	ウルメイワシ	450	45		↗↗
		18	かます類	119	7	小小主体	→
		29	マアジ	105	4	豆あじ主体	↘↘

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘